

## Press Information

### 超小型、シンプル、スイッチ内蔵 1.5A ステップダウン DC-DC コンバータ、 外付けはわずか 10 $\mu$ F のセラミックコンデンサ

MAX1951/MAX1952 は、コストに厳しくスペースの制約が大きいアプリケーションの DSP、ASIC、及びマイクロプロセッサのコア及び I/O 電源となる超小型、シンプルな 1.5A ステップダウンレギュレータです。この DC-DC コンバータは 1.93cm<sup>2</sup> 以下のスペースに収まり、1.5V 出力のアプリケーションでは、MAX1951 は小型で安価な 10 $\mu$ F セラミック入出力コンデンサを使用します。アプリケーションとしてはセルラ基地局、ネットワーク及びテレコムシステム、セットトップボックスなどがあります。

MAX1951/MAX1952 はパワー-MOSFET を内蔵しており、サイズが低減され複雑な設計が簡素化されます。デジタルソフトスタート、電流制限/短路保護、及び熱過負荷保護により障害に強い設計が実現されます。

MAX1951 は 2.6V ~ 5.5V の入力電圧で動作し、出力電圧は 1%の精度で最低 0.8V です。MAX1952 はプリセット 1.8V を出力し、1MHz スイッチング周波数により外付け部品のサイズ及びコストが削減されます。両デバイス共セラミックコンデンサで動作します。

MAX1951ESA/MAX1952ESA は、小型 8 ピン SOP パッケージで提供され、工業用拡張温度範囲(-40 ~ +85 )での動作が保証されます。設計時間を短縮するための評価キット及びアプリケーション回路も提供されます。

